

ふだんの くらしの しあわせ

2026

No.84

11

福祉

いみず

テーマ

地域共生社会 共に生きる

「誰もが暮らしやすいまちってどんなまち？」
について一緒に考え、ボードに書いていただきました。



8/21(金)
開催

ファミサポ会員交流会

おやこ料理教室&食育講座参加の皆さん



つながる社協 つなげる社協



社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0351 射水市戸破4200番地11
救急薬品市民交流プラザ2階 総務課 ☎55-5201
〈E-mail〉 honsho@imizushakyo.jp
〈ホームページ〉 <https://www.imizushakyo.jp/>



ホームページ



Instagram

特集 こどもまんなか社会の実現に向けて
～射水市ファミリーサポートセンター～ p2,3

キラキラきらり人〈地域の福祉人材の紹介〉… p4

すてっぷからのお知らせ …… p5

モノドライブ実施報告について …… p6

第20回射水市社会福祉大会 …… p7

社協からのお知らせ …… p8

この広報誌は、一部共同募金の助成を受けています

子育てをもっと楽しく！

あなたの子育てを応援します

ファミリーサポートセンター

ってなあに？

子育てをお手伝いしてほしい「依頼会員」と、子育てのお手伝いができる「協力会員」が会員登録して、地域の子育てをサポートしています。（小学6年生までのお子様を対象です。）



「保育園のお迎えの時間に間に合わない」

「用事の時、少しだけ子どもを見てもらいたい」

「子どもの習い事の送迎が難しい」など

共働きやひとり親家庭に限らず、子育てをしていると誰もが一度は経験する「ちょっとした困りごと」。

祖父母が近くにいなかったり、頼れる親族が遠方だったりすると、こうした場面で孤立感を覚えることはありませんか？

そんなとき、地域住民同士の助け合いで子育てを支える「ファミリーサポートセンター」を利用してみませんか？

例えば、こんな時に
利用できます

学校や保育施設
開始前後の
預かり及び送迎

協力会員宅や
支援センター内での
預かり

保護者の
通院時や買い物、
リフレッシュしたい
時の預かり



ファミリーサポート
センター

①会員登録
援助申込

②援助依頼



依頼会員



協力会員

③事前打合せ・活動開始
④活動終了後の報酬の授与

年間通じて行事を計画しています



合同イベント



救命講習会



おやこ料理教室

サブリーダーのみなさん



協力会員の代表として、13名のサブリーダーが活動しています。ファミリーサポートセンターとともに、全体交流会や研修・講習会の企画運営等にご協力いただいています。

毎年11月は「秋のこども
まんなか月間」です。
子どもや子育て家庭を社会全
体で応援し、子どもたちが健や
かに成長できる社会を目指す取
り組みが実施されています。

サブリーダーの 鳥本さんと 藤川さん に お話を伺いました



協力会員になったきっかけは？

藤川さん●知り合いから誘われて登録しました。

鳥本さん●元々依頼会員として登録していたけど活動を依頼することはないまま第1子が中学生になることを伝えるため来所した際にお誘いを受けました。



子どもと関わる中で、「活動を始めてよかった」と感じた瞬間は？

藤川さん●子どもの成長をみることができた時に始めてよかったと感じます。

鳥本さん●活動が終了しても顔をみかけることがあり、その時はお互いに手を振っています。地域に知っている子どもがいると思うと嬉しいです。

子どもたちにとって、地域の大人が関わることにどんな意味があると思いますか？

藤川さん●困っていることは「地域の人に頼ってもいいんだ」と感じてもらえることにつながると思います。

鳥本さん●地域に知っている人がいるということは、安心感につながると思います。預かりや送迎を通して、少しでも地域の方々とのつながりを深めていければと思います。



協力会員として活動をする中で、仕事や日々の生活に何か変化はありましたか？

藤川さん●活動を終えた後でも、「今どうしているかな？」とふと思うことがあります。出会いと別れの繰り返しですが、知っている子どもが地域に増えることは嬉しいです。

鳥本さん●私も地域に知っている子どもが増えたことが嬉しいです。元気に過ごしている様子を見ると温かい気持ちになります。

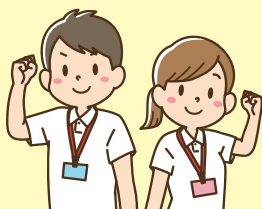


活動を続けている理由は？

藤川さん●役に立っているという嬉しさや、子どもの成長を見ることができ喜びが活動を続ける原動力になっています。

鳥本さん●自分にできることがあるなら、できる範囲で協力したいという気持ちです。役に立てることを嬉しく思いながら、無理なく活動を続けています。

～空いている時間に、できる範囲でお手伝い～



協力会員 募集中

- 市内在住で子どもが好きな方
 - 心身ともに健康で、子育て世帯を援助したいと思っている方
- ※資格・経験は問いません。

資質向上研修

日時 11/19(木)
10:00～11:30

- 場所 救急薬品市民交流プラザ3階
会議室1A
- 内容 ●子育て世帯の防災対策について
〈講師〉防災士 海津 暁子 さん
- 対象者 市内在住または市内にお勤めの方
先着30名

ファミサポ交流会

日時 12/12(土)
10:00～11:30

- 場所 救急薬品市民交流プラザ1階
ふれあいホール
- 内容 ●バルーンショー (パフォーマーTANEさん)
●ワークショップ
「アロマで楽しむ癒しの時間」(寺下朋美さん)
- 対象者 市内在住または在勤の保護者とそのお子さま

人に寄り添い、音楽で心をつなぐ ～ひとりひとりの想いを大切に、その人らしい暮らしを支える～

社会福祉法人ひいらぎ会 すずらん介護支援センター
主任介護支援専門員・センター長

橋本 莖子 さん

橋本さんは、特別養護老人ホームすずらんに併設されたすずらん介護支援センターで勤務しています。在宅で生活する方が安心して暮らせるよう、介護サービスなどの支援につなぐ橋渡し役を担っています。また、射水市主任介護支援専門員部会の部会長としても活躍しています。



キラキラ
きらり人

地域福祉を担うキラキラ
さんを紹介するコーナーです。
今回は、主任介護支援専門員
の橋本さんに、介護の仕事を
始めたきっかけや思いをお聞
きしました。

介護の仕事を始めたきっかけは？

ももとは介護の仕事を考えていたわけではなく、ピアノの先生を目指していました。県外の大学で華道を専門に学び、Uターン後は介護施設で音楽や洋裁、フラワーアレンジメントなどを教えていました。そこで経験を重ねる中で、介護福祉士、介護支援専門員の資格を取得し、現在は音楽療法にも取り組みながら、高齢者の支援に携わっています。今の仕事に就けたことも、ご縁だと感じています。

主任介護支援専門員として大切にしていることは？

ケアマネジャーを支え、対応に困った事例を共有しながら、みんなで意見を出し合い成長していくことを大切にしています。それが主任介護支援専門員の役割だと考えています。

利用者・家族との関わりで心がけていることは？

利用者様やご家族の思いを尊重し、ひとりひとりに合った関わり方を大切にしています。華道を学んだ経験も、その人らしさを大切にした支援に活かされています。

音楽療法を始めたきっかけは？

ピアノが好きだったことから、音楽療法を学びました。
利用者様と歌を楽しむ中で、歌が昔の思い出や会話につながることに気づきました。当時、テレビの前で歌っていた、ラジオから流れる歌を聴いていたなど、ひとりひとりに思い出の歌があります。そんな思い出を話していただきながら、音楽を通じて楽しく過ごす時間を大切にしています。

大島地域での音楽療法の様子

介護施設に加え、地域の集まりでも活動しています。



音楽療法は、音楽の持つ力を活用して、心身の健康や生活の質の向上を目指す活動だよ



主任介護支援専門員ってどんな人？

介護に関する専門的な知識や技術を身につけ、ケアマネジャーへの助言や指導を行うなど、地域の介護支援体制づくりを担う専門職です。医療機関や福祉サービス事業所など、さまざまな関係機関と連携しながら、安心して必要なサービスを受けられるよう支援します。



令和8年度市民講座

ゆるっと語る 『つながり』の話

「なんとなく孤独を感じる」
「誰かに相談したいけど、相談
できない」誰にでもそんな気持ち
になることがあります。

人とのつながりがなくなると、
ひとりで悩みを抱えてしまったり、
必要な情報や支援につながりにく
くなったりすることがあります。

この講座では、誰もが経験す
るかもしれない孤独・孤立や生
活の困りごとが起こる背景を学
び、困っている人がひとりで悩
みを抱え込まないために、地域
でできる小さな「気づき」や
「声かけ」を考えます。

人と人とのつながりを
一緒に考えてみませんか。

令和8年

日時

11月17日(火) 18:00~19:30 (受付17:45~)

会場

救急薬品市民交流プラザ1階 研修室

(射水市戸破4200番地11)

講師 古本なるや 店主・相談員 堀田 晶氏

富山県高岡市伏木にて「話せる古本屋」を経営しています。
交流分析士インストラクターの専門性を活かし、日常の
小売店を装いながら、生活困窮者へのさりげない相談支援と
居場所づくりを実践しています。

県孤独・孤立対策事業を受託し、地域や他機関と連携した
「孤独させない地域づくり」に取り組んでいます。



対象

射水市在住の方
40名程度

(地域住民、当事者、専門職
どなたでも参加可能です)

申込

令和8年11月9日(月)までに

電話、FAX、ウェブ(申込専用フォーム)
または来所にて申してください。

*匿名での参加も可能です。

ウェブ申込は
こちらの二次元コードから



参加無料!



毎月定例で開催

場所／救急薬品市民交流プラザ(別館)

すてっぷカフェ

ひきこもりなど生きづらさを抱える方
が集まって自由に過ごす場所です。

※途中参加、退出自由です。

日時

11/19(木)、12/17(木)、1/21(木)
13:30~15:30

すてっぷカフェ家族会

ひきこもりなど生きづらさを抱える方
のご家族(両親・兄弟・親戚など)が集
まって自由に過ごす場所です。

※途中参加、退出自由です。

日時

11/28(土)、12/19(土)、1/23(土)
13:30~15:30
※11/28(土)は家族会勉強会を開催します。
詳しくは8ページに掲載しています。

ひきこもり相談会

ひきこもりに関する悩みや不安などの
相談に専門資格をもった相談員が対応
します。

※予約不要。但し、状況により、お待ち頂く場合があります。

日時

11/10(火)、12/8(火)、1/12(火)
13:30~16:30

相談・問合せ先

射水市ふくし総合相談センターすてっぷ

☎55-5203 ☎55-5204(ひきこもり相談専用ダイヤル)

E-mail step@imizushakyo.jp

すてっぷの紹介▶



皆さまの想いが、 地域の支え合いにつながりました

～モノドライブを実施しました～

8月3日(月)から9月14日(月)まで、モノドライブを実施しました。

期間中は、文房具や日用品をはじめ、1,000点を超えるさまざまな品物をお寄せいただきました。「誰かの役に立てば」という思いとともに寄せられたひとつひとつの品物から、皆さまの温かいお気持ちが伝わってきました。

ご寄付・ご協力いただいた方々に、心より感謝申し上げます。今後も地域の皆さまとともに、支え合いの輪を広げてまいります。

支援団体を通じて必要とされる
方々へお届けしました

モノドライブは、ご家庭で使っていない文具や日用品を、
必要としている方につなぐ取り組みです。

それだけではなく、地域の皆さまが持つ「誰かの力になりたい」「地域のために何かしたい」という思いを、具体的な支援のかたちへとつなげる取り組みでもあります。



10月2日(金)、3日(土)に、集まった品物の配布会を開催し市内のひとり親家庭や支援団体の皆さまにお渡ししました。会場では、制服のリユース販売会や相談会も行い、必要な情報提供や支援につながる場にもなりました。

救急薬品市民交流プラザ等に回収ボックスを設置し、皆さまから寄せられた品物をお預かりしました

ひとつひとつの品物に込められた皆さまの温かいお気持ちが、誰かの安心や笑顔につながります。こうした小さな支え合いの積み重ねが、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりにつながっていくことを願っています。

問合せ 射水市ボランティアセンター(射水市社会福祉協議会内) ☎55-5202



日常生活から生じる心配ごと

悩みごとに関する相談

日時

11/17(火)、12/1(火)、12/15(火)
1/5(火)、1/19(火)
13:30~15:30

場所

救急薬品市民交流プラザ
(1階ミーティングルーム)

問合せ先

地域福祉課 ☎55-5202

民生委員・児童委員がお聞きします。
予約制ではないので、
当日 直接会場へお越しください。

射水市社会福祉大会



令和8年10月5日、アイザック小杉文化ホールラポールにて「第20回射水市社会福祉大会」を開催しました。

式典では、社会福祉に貢献された方や団体へ、長井会長が

表彰状の授与ならびに感謝状の贈呈を行いました。その後、地域共生社会の実現に向けて、一層努力することを宣言しました。

記念講演では一般社団法人プラスケア代表理事 西智弘氏をお招きし、「社会的処方」地域とのつながりを利用して人を元気にする仕組み」と題してご講演いただきました。



当日の講演を本協議会のYouTubeチャンネルで11月1日(日)から配信しています。ぜひご覧ください。



射水市協
You Tube

受賞された皆さま
おめでとうございます
(順不同・敬称略・公表者のみ)

射水市社会福祉協議会会長表彰

野崎未弥子	出口 理香	五十嵐吉嗣
棚田 孝	豊田 博保	高田 大介
川除美恵子	石丸 裕子	畠 美智代
堀川 勝正	野手 宗秋	長井 芳子
稲垣 俊之	藤田のり子	伊藤 美香
御後 悦子	中埜 雅子	

射水市社会福祉協議会会長感謝

杉谷 慶子	稲積 稔	森田 信子
国奥美佐子	石川 彰子	杉山 義尚
鈴木 公平	門田 晋	富山桜吟会

株式会社アイザック・オール

令和8年度 赤い羽根共同募金運動が始まりました

～誰もが安心して暮らせる地域づくりのために～

10月1日に街頭募金を行いました。



10月1日から翌年3月31日まで、全国で一斉に活動が行われます。

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」というキャッチコピーのとおり、射水市で集められた募金は、市内の身近な福祉活動に役立てられます。また、災害発生時の準備金としても活用されます。

八十周年
ありがとう。これからも一緒に。

みなさまの温かいご支援を
よろしくお願いいたします。

すてっぷカフェ 家族会勉強会

11/28(土) 13:30~15:30

「北風と太陽」の太陽になろう
～ひきこもり当事者への関わりかた～

講師 川田病院 公認心理師・臨床心理士
石黒 美幸 氏

場所

救急薬品市民交流プラザ
別館

定員

20名(先着順)

申込
締切

11/20(金)



▲申込専用
ウェブサイトはこちら

みんなのひろば

毎号、テーマに関する読者の皆さんの声をお届けするコーナーです。
今回は、皆さんの「私の“まち”の好きなおところ」をお聞きました。

「ご近所さんが親切なおところ。」 〈70代・女性〉

「絵本のまちであるところ。」 〈20代・女性〉

「内川沿いからの風景。」 〈30代・男性〉

その他の声は本会公式Instagramで紹介中！
表紙のQRコードから、ぜひチェックしてみてください♪

次号のテーマは「あなたの元気の源は？」

「毎朝の散歩」「孫との電話」など、皆さんの元気の源を教えてください。
次号にて一部を紹介させていただきます。

(氏名は掲載しません。年代、性別は掲載予定)

みんなのきもち



ありがとう

みなさまより福祉のためにご寄付いただきました。お寄せいただいたご寄付は、
地域福祉の推進に活用させていただきます。【令和8年6月17日～令和8年10月1日受付分】

●四日曽根獅子方連中 様 5,000円

クイズ作成 ● いみず脳トレクラブ



脳トレクイズ

もんだい
Question

☐ に生き物が入っています。
☐ に入れ富山の方言を完成してください。
また、その意味を a～f から選び、線で結びなさい。

方 言

鷺(わし)
貝(かい)
牛(うし)
鹿(しか)
犀(さい)
鯛(たい)

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ☐ ☐ な | か | す | ● | | |
| ② | こ | わ | く | ☐ ☐ | ● | |
| ③ | ま | ☐ ☐ | す | る | ● | |
| ④ | で | ☐ ☐ | と | ● | | |
| ⑤ | し | ょ | ☐ ☐ | な | い | ● |
| ⑥ | は | ☐ ☐ | い | ● | | |

意 味

- a 片付ける
- b 落ち着きがない
- c 失う
- d 賢い
- e 生意気
- f 沢山

※正解は最下部にあります

QUIZ

下のイラストは何のマークでしょうか？

①②③の中から正解を選んで番号をご回答ください。



- ① 車いすマーク
- ② ヘルプマーク
- ③ 障がい者マーク

クイズの正解者の中から

抽選で3名に



図書カードをプレゼント!

(500円)

前号クイズ回答



① 身体障がい者マーク

肢体不自由であることを理由に、
免許に条件が付されている方が
運転する車に表示するマークです。

プレゼントクイズ

みんなのひろば

の応募は
こちらから

ハガキ、FAXでの応募は下記の事項を記載の上、
下記あて先までお送りください。

- ①クイズの答え ②郵便番号・住所
- ③氏名 ④電話番号 ⑤年齢
- ⑥本誌の感想
(良かったコーナー名と感想や意見などご記入ください)
- ⑦あなたの元気の源は？



あて先

〒939-0351
射水市戸破4200番地11
(福) 射水市社会福祉協議会
「福祉いみず プレゼントクイズ」係
FAX 0766-55-5208

応募締切

令和8年
12月1日(火)
消印有効

※当選者の発表は発送
をもって代えさせて
いただきます。

号は
次

No.85 令和9年2月発行

特集テーマ

防災

Pーいみず110 9ーいみず110
Jーいみず110 8ーいみず110
Oーいみず110 7ーいみず110

そまのひろば